

家庭学習の手引き(保護者用)

1 家庭学習のねらい

- ① 子どもに、家庭での学習習慣を身に付けさせることです。
- ② 子どもに、自主的・意欲的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせることです。
- ③ 子どもに、家庭も学校と同じ「学ぶ場」であることを理解させることです。
- ④ 子どもに、基礎学力を身に付けさせることです。



中でも特に大切なのは、「①の学習習慣を身に付けさせる」ことです。小学校のうちに机に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身に付けさせましょう。

2 家庭学習のさせ方

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」中から選んでさせてください。
(5, 6年生には自分で考えさせてもいいでしょう)。
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書でも何でもかまいませんが、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。

3 家庭学習における保護者の役割

①学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、必ず机に向かう習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。

1年生は10分以上、2年生は20分以上、3年生は30分以上、4年生は40分以上、5年生は50分以上、6年生60分以上が目安となります。

【4年生を例にすると】

- 宿題20分 + 家庭学習20分 = 40分
- 宿題10分 + 家庭学習30分 = 40分
- 宿題なし + 家庭学習40分 = 40分

※広葉中学校では、1年生2時間以上・2年生3時間以上・3年生4時間以上を目安としています



② 学習環境の整備

例えば、テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。お子さんが落ちついた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③ 見届け・励まし

コメントを書いてあげたり、ハンコを押してあげたりなどの見届けをお願いします。

また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。